



国際ロータリー第2530地区東北第一区  
**福島南ロータリークラブ**

2007年-2008年RIテーマ

■会 長/武藤 正隆 ■幹 事/林 克重

**第37回例会**

平成20年4月2日(水)  
サンパレス福島

**本日のプログラム**

1. 開会点鐘
2. 国家斉唱、RCソング「奉仕の理想」
3. 4つのテスト
4. 会長挨拶・会計報告
5. 幹事報告
6. 『ロータリーの友』読みどころ
7. 創立記念贈呈
8. 職業奉仕発表
9. 各委員会報告
10. 閉会点鐘

**今月・来月のプログラム**

- 4月16日(水) 創業記念会員スピーチ
- 4月20日(日) 東北第一区親善ゴルフコンペ
- 4月24日(木) 東北第一区ロータリー交流会  
福島県男女共生センター
- 4月30日(水) クラブフォーラム
- 5月17日(土) 08-09年度地区協議会

**会長挨拶**

武藤 正隆会長



皆さんに楽しんでいただけるよう、一つ俳句を紹介致します

むきあうて 茶を摘む 音を  
たつのみ (皆吉爽雨)

指先や鉄で、一葉一葉づつ吟味して丹念に摘み取ることに一心に、一言もことばを交わすことなく、ひたすら同じ早さで向かい合って茶を摘む者同士、茶を摘む音だけが静かな茶畑に時を刻んでいるのですよ、といった句です。八十八夜から2・3週間が茶摘みのもっとも盛んな時期の句で、向かい合った同士は、あるいは夫婦なのかも知れません。

本日、職業奉仕を発表する4名の会員からどのようなお話しが聴けるか、大変興味があり、楽しみにしています。

前期の会計報告をさせていただきます。資料をご覧ください。今年度は、収入不足と、予定外の支出が膨らんだことで、大変厳しい現状です。次年度に負担をかけないようにするためにも、皆様のご協力を宜しくお願い致します。



還暦祝い 本日3名

**『ロータリーの友』読みどころ**

佐久間 功 雑誌委員長

横書きには、各国のロータリー雑誌が載っています。縦書きに、かつて三沢高校のエースだった太田幸司氏の記事があり、7ページには会員数わずか7名の久米島RCの話があります。卓話の泉には、眼の病気の話し、友愛の広場には、メイクアップ四十七都道府県で達成した、福島西の河野担司さんの話しなど、興味深い記事がたくさんあります。

**創立記念贈呈**

高橋 正一 親睦活動副委員長



- 浅倉俊一会員昭和51年
- 金子興宏会員昭和40年
- 喜古勝弘会員昭和46年
- 國井 元会員昭和61年
- 齋藤 浩会員昭和50年
- 佐久間功会員昭和40年
- 橋脇英行会員昭和53年
- 藤原和雄会員平成 2年
- 富田健三郎会員昭和47年
- 藤橋進一郎会員昭和27年
- 武藤正隆会員昭和53年

**職業奉仕発表**

伊藤弘子 職業奉仕副委員長

**週間ロータリーレポート NO. 37**

**本日のスピーカー**

郷野目かおる歯科クリニック 斎藤浩会員



開設は昭和50年4月5日ですが、以前は、松川で、さらに遡ると東京杉並区で開業していました。当時、近くに花籠部屋があり、学生たちもいて、その中に全日本大学相撲選手権大会で優勝した者がいました。「充分な歯の治療をし、歯を食いしばって、うっちゃたから優勝できたのだ。」という一言に、大きくうなずきました。彼こそが後の横綱輪島関です。まさに職業奉仕というものだったのですが、当時は、その理念を理解するに至っていませんでした。時間ですので、機会がありましたらまた、お話しいたします。



歳つまり還暦を迎えました。この記念すべき日に会社設立記念スピーチの機会を頂きました事、誠にありがとうございます。美味しいお饅頭をご賞味下さい。昭和40年4月1日が、会社設立日以来43年になりました。地域に根ざした、美味しく、感動する菓子作りをモットーに二代目として仕事に取り組んでいます。特徴ある、こだわりのお菓子が、お客様に喜んで頂け、支持されていくものだと信じ、微力ながら、食の安全・安心を肝に命じながらお菓子を通して、社会の繁栄に貢献できればと思っています。

**出席委員会**

本田光男委員長

3月の出席率 89.13% 前年同月91%  
前年同月比 △ 1.87%

**(有)喜古工務店**

喜古勝弘会員



当社は、昭和46年4月28日創業、一般土木建築をしています。主に木造建築を市内南部で営業しています。地元の皆さんの住宅、店舗貸住宅他、地域の公共物等も手がけています。近年は、健康住宅使用が増え、木造従来工法が見直されています。そこをアピールできればと思っています。南RCには、前社長に代わり今年で5年目です。社会奉仕や職業奉仕に努めていきますので、今後ともよろしくお願い致します。

**(有)藤橋歯車鉄鋼所**

藤橋進一郎会員



明治18年に、私の先々代が曾根田に鋳物工場を建設したのが始まりです。120年以上過ぎました、その間、鋳物、織機、消防ポンプ、消防車と、時代と共に変化してきましたが、昭和27年4月に歯車鉄鋼所創立となりました。近年、勘に頼っていた部分が、電子技術に変わってきています。機械を使いこなす熟練工になるために、目で、指で、そして心で感じるよう指導しています。また、厳格な製品管理が常々要求されます。社員と価値観をともにしないと、いいものは出来ません。加工技術、分析能力を伝えていくのが、私の仕事ですが、結局は、本人が失敗しながら身につけるものなのです。

**(株)福々和本舗**

佐久間功会員

私事で恐縮ですが、本日4月2日は、私の誕生日で、60